

令和7年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
泉	1	「住みたい・住み続けたいまち 横浜」をPRするシティプロモーションの実施	<ol style="list-style-type: none"> 1 関係区局によるプロジェクト等の体制を継続 2 横浜市版 居住促進PRサイトの継続運用 3 効果的な市の情報発信内容の検討 	政策経営局	○
泉	2	都市計画道路整備の促進	<ol style="list-style-type: none"> 1 区内の道路ネットワーク機能の強化及び小学生の安全対策を推進するために、権太坂和泉線(岡津地区)の残りの区間(1,330m)の早期整備 2 買収済用地を活用した歩行者安全対策の検討及び早期実施 	道路局	△
泉	3	深谷通信所跡地利用基本計画の確実な事業推進、各局連携	<ol style="list-style-type: none"> 1 都市整備局が中心となり、地域住民に納得性の高い説明ができるように進捗管理、スケジュール調整等の事業全体のマネジメントの着実な推進 2 事業局(健康福祉局、みどり環境局、道路局)間のスケジュール調整等、連携による円滑な事業実施 3 都市計画決定に向けた丁寧な地域説明(深谷通信所返還対策協議会等)及び事業費確保 	都市整備局	○
				健康福祉局	○
				みどり環境局	○
				道路局	○

令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	政策経営局
------	-------

泉区		区政推進課	
担当者名	志澤	TEL	800-2331
共通区	全区		

継続年数	3年
------	----

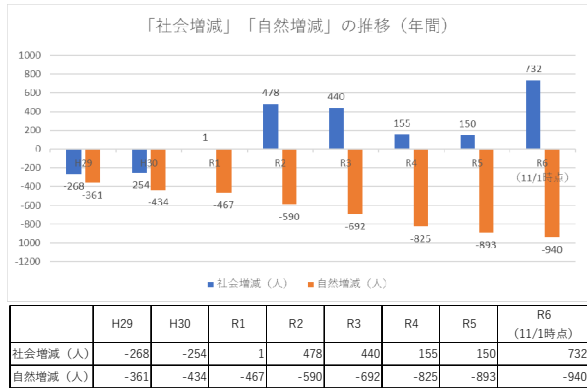
提案種別	制度関連
------	------

番号	項目
1	「住みたい・住み続けたいまち 横浜」をPRするシティプロモーションの実施

◇地域の課題、基礎データ等

1 現状

- (1) 人口減少
 - ・ピーク時：155,725人 (H22年)
 - ・現在：150,473人 (R6年11月1日時点)
 - 約5,000人の減 (社会増に転換してきているが、自然減の影響が大きい)



(2) 定住意向

定住意向は増加傾向

	R3(%)	R4(%)	R5(%)
定住意向	67.5	68.8	76.8
転居意向	15.3	17.4	7.4

※令和3～5年市民意識調査 (泉区)

2 課題

- (1) 若い世代をターゲットにした定住・転入の働きかけが必要
- (2) 区民の愛着心を高める取組が必要
 - 泉区の居住環境を含めた魅力のアピールが必要
 - 他都市 (神奈川県内、神戸市等) では横浜をターゲットにした移住促進が多い。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他 ()

◇区民からの具体的な要望

- ・区が主体となってプロモーション本部を立ち上げているが、ブランドイメージを向上していく姿勢は今までの泉区になり活動であり期待している。
- ・地域にとっても活性化の好機であると感じている。特に若い世代に「住むなら泉区」と実感してもらい、転入・定住につなげて、活力あふれる地域をつくってもらいたい。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

泉区では、令和6年度泉区運営方針基本目標の「みらいへ進もう！地域とともに」における目標達成に向けた施策1「にぎわいの創出と発信による魅力づくり ～とどげよう！いずみの魅力～」において、定住・転入に向けた取組を推進しています。前述の平成22年をピークに減少する人口の状況を踏まえ、平成29年度に「定住・転入促進事業」として事業化されました。区内外の若い世代に泉区を知ってもらい、「居住地としてのブランドイメージの定着」や「区民の愛着心の向上」を図り、定住・転入の促進につなげることを目指しています。

◇提案内容・概算額等

人口減少などの課題に対して、居住地としての魅力のPRを行っている郊外区等と、政策経営局及び関連局による連携の継続を希望します。

【具体的対応】

- ①関係区局によるプロジェクト等の体制を継続
 - 区局それぞれが持つ課題やPRの実績・ノウハウ等を共有し、局によるスケールメリットを生かし相乗効果を図るなど、市として一体的に「住みたい・住み続けたいまち横浜」のシティプロモーションを推進します。
- ②横浜市版 居住促進PRサイトの継続運用
 - 運用後の効果検証を行いつつ、効果的な転入増となる取組に向けて共に検討します。
- ③効果的な市の情報発信内容の検討
 - 転入者のライフスタイルに合わせて、市の施策を効果的に発信し制度の利用促進と定住意向の向上につなげる内容を共に検討します。

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	政策経営局広報戦略・プロモーション課
------	--------------------

◆局回答内容

政策経営局		広報戦略・プロモーション課	
担当者名	関戸	TEL	671-3680

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	①関係区局による検討体制を継続します。 ②「横浜移住サイト」の継続運用に向け、所要額を令和7年度予算に計上します。 ③定住にも繋がる移住促進の情報発信内容について、 関係区局による検討体制を活用し検討を行っていきます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

泉区		泉土木事務所	
担当者名	松野下	TEL	800-2534
共通区			

継続年数	6年
------	----

提案種別	予算関連
------	------

番号	項目
2	都市計画道路整備の促進

◇地域の課題、基礎データ等

- 権太坂和泉線（名瀬・岡津地区）
 - ・ 県道瀬谷柏尾の岡津地区は、歩道の無い範囲が多いことに加え、車両同士の事故が多発する地点もある。そのため、通学する小学生は細街路への迂回を強いられており、子どもの安全な歩行空間の確保が求められている。[市中期テーマ02—戦略5—政策28『日常生活を支える地域交通の実現』]
 - ・ 事業区間は慢性的な渋滞が発生しており、道路交通の円滑化が求められている。[市中期テーマ03—戦略9—政策36『交通ネットワークの充実』]
 - ・ 県道瀬谷柏尾に並行する部分は、用地買収済の区間が存在することから、区民からも早期の整備を要求されている。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

- ・ 用地取得が完了している部分については、早期整備を進めてほしい。
- ・ 工事を進めるために必要な用地買収を進めてほしい。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

- ・ 区運営方針に道路整備の促進が位置付けられている。

◇提案内容・概算額等

- ・ 区内の道路ネットワーク機能の強化を図るとともに、小学生の安全対策を推進するため、権太坂和泉線（岡津地区）の残りの区間（1,330m）の早期整備を要望します。
 - ・ 併せて、買収済用地を活用した歩行者安全対策の検討及び早期実施を要望します。
- 【概算額：20,000千円（道路局建設課）】
（設計測量費・工事費）

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局	
所管局課	道路局建設課

◆局回答内容

道路局		建設課	
担当者名	西島	TEL	671-3635

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容
	早期に整備できるよう用地交渉を進めます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	都市整備局、健康福祉局、みどり環境局、道路局
------	------------------------

泉区		区政推進課	
担当者名	稲垣、平野	TEL	800-2332
共通区	戸塚区		

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	予算・制度関連
------	---------

番号	項目
3	深谷通信所跡地利用基本計画の確実な事業推進、各局連携

◇地域の課題、基礎データ等

1 経過
平成26年 深谷通信所返還
平成30年 「深谷通信所跡地利用基本計画」策定
令和9年頃 都市計画決定(予定)
都市計画決定後 4年間程度 着工準備期間
工事着工後 15年間程度 工事期間

2 地域状況
・基本計画の実現に向けて過年度、環境アセスメント手続(配慮書、方法書)が実施され、地域では事業が少しずつ進んで来ているとの認識がされています。
・環境アセスメントの手続きが進み、事業の全体像やスケジュールが地域に示されたことで、地域の関心は、公園、墓園、接続道路等の詳細内容に移りつつあります。
・77haに及ぶ大規模な整備であり、既存の「かまくらみち」だけでは、地元の交通渋滞等、生活環境に与える影響が大きいことから、環状3号線、環状4号線との接続道路の整備については、事業全体を進める上で必要不可欠なものとして、特に関心が高くなっています。

3 課題認識
・今後の都市計画決定に向けては、各局間の事業スケジュールを調整した上で、確実に実現するためのマネジメントが求められます。
・地域で事業全体のポイントと認識している環状3号線、環状4号線との接続道路の整備については、各局事業整備の段階に応じた道路整備計画を地域に示すことで、安心感を持ってもらうことが重要です。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他()

◇区民からの具体的な要望

・事業を進める上で環状3号線、環状4号線との連絡道路は必要不可欠。かまくらみちだけでは交通需要を満たすことは難しい。新たな道路インフラの整備無くして基本計画は成り立たない

・連絡道路の整備スケジュールはどうなっているか。公園、墓園、外周道路の段階的な供用開始スケジュールと整合性は取れているのか。

・上瀬谷通信施設跡地の進捗と比較して深谷は進んでいないと感じる。「都市計画決定までのスケジュール(ロードマップ)」を地域に丁寧に説明することで、着実に事業が進んでいくという実感を持たせてほしい

・都市計画決定後の各事業(公園、墓園、道路)について地域の意見を反映した上で着実に整備を進めてほしい

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

- ・泉区運営方針：魅力向上・創出「とどげよう!いずみの魅力」
- ・地域意見を反映した跡地利用及び暫定利用の実現に向けた調整
- ・地域要望を踏まえた対応
 - ①中央広場一般開放及び広場でのイベント開催
 - ②消防ヘリ離発着訓練及びPR動画作成広報
 - ③公共トイレの整備

◇提案内容・概算額等

・都市整備局が中心となり、地域住民に納得性の高い説明ができるよう進捗管理、スケジュール調整等の事業全体のマネジメントの着実な推進

・事業局(健康福祉局、みどり環境局、道路局)間のスケジュール調整等、連携による円滑な事業実施

・都市計画決定に向けた丁寧な地域説明(深谷通信所返還対策協議会等)及び事業費確保

・都市整備局と国との管理委託契約敷地の適切な維持管理の実施

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

所管局	都市整備局基地対策課、健康福祉局環境施設課、みどり環境局公園緑地事業課、道路局企画課
-----	--

◆局回答内容

都市整備局		基地対策課	
担当者名	今野、中道、高橋	TEL	671-4002

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 事業実施に向けた全体調整や丁寧な地域説明を行います。 暫定利用に関する運営・維持管理を行います。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

健康福祉局		環境施設課	
担当者名	黒川、宮本、廣田	TEL	671-4387

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 環境影響評価手続等、令和9年頃の都市計画決定に向けて、引き続き必要な手続きや調整を進めます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

みどり環境局		公園緑地事業課	
担当者名	松永	TEL	671-4611

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 都市計画決定に向けて手続きを着実に進めます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

道路局		企画課	
担当者名	森、山蔭、野本	TEL	671-2777

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 都市計画決定に向けて、関係機関等と協議、調整を進めます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題